

言わば名著さえクソだし
言わざれば昨日の俺の糞も文学

政治家とうちの課長と
二件目の居酒屋の便所に貼られたポスター

働けど楽にならざる給料日握った拳
掌見えず

「改善されつつはあるよね」
右だけで聴きつつ畳む洗濯物は

たたかうきみのうた

遥 弥生

「『在日』のアジト」と嘲り
己が里指差すちいさな背に陽の注ぐ

空襲です！ 水です！ マスクです！ スイッチです！
それにつけても金の欲しさよ

名を似せど祭開けど
三丁目二度と戻らぬ同じ夕日は

私も金メダル欲しくて
警笛のピストル耳に飛び込んだ線路

ウンコ味のカレーでもなくて
カレー味のウンコでもなくてカレーをよこせ

白檀よりラキスト11mmだったなまぐさジジイ
今は位牌に

幽霊も出なけりや誰も立ち上がらぬ土曜の我が社
日銭を稼ぐ

ほと好かぬ男の上に埒あくは
こんやのビールうまくするため

「戦闘機危ない！ うるさい！」
親友の米兵に託つ金曜の夜

日の丸の影の下にて火曜日ひそかな逢瀬
拾八の夏

ベルト巻きマスクをつけてマフラーの
タイ締め今朝の鏡に「変身！」

ガリガリだけどガンジーにはなれないから
へこへこします殴っていきます

戦う君の歌をともには歌えないけど
笑わぬ僕ではいたい